

牛頸区ホームページ : <http://www.kouminkan.info/onojo/ushikubi/>

牛頸区ホームページは大野城市と南コミュニティホームページのリンク集からもご覧になれます

【十一月の行事報告】

●花いっぱい運動



九日に公民館、ダム記念館、牛頸浄水場前の3か所の花植替えをしました。婦人会・食進会・1組シニアクラブ・悠々会に手伝って頂き5種類の花苗をプランターや

花壇に植えました。寒さに耐えて咲く花は気持ちを和ませてくれます。春まで咲き続けて欲しいものです。

●公民館運営協議会視察研修



年に一度の公民館運営協議会の館外研修、今年も田川石炭・歴史資料館を見学しました。筑豊の石炭産業が栄華を極める過程と資料、世界文化遺産に登録された山本作兵衛の作品も展示され、かつての栄華を陰で支えた労働者の姿が印象的でした。時代の移り変わり、栄

●まつり南風



枯盛衰を目の当たりにする視察でもありました。一一日に南コミで開催され、写真・絵画・書・生け花・手芸・工芸などが出展されました。牛頸からも多数の出展があり、丹精込めて作られた作品、日頃の精進の成果を発表する場でした。趣味の幅広さと奥の深さが見て取れ、魅力あふれる展示でした。

●第1回牛頸須恵器窯跡整備計画に関するワークショップ

一八日に南コミに集合してマイクロボスで窯跡六カ所を見学しながら現状の説明を教育委員会ふるさと文化財課から受けました。参加三〇名弱で回った今回の見学、小田浦窯跡群一地区、後田窯跡群一地区、

石坂窯跡群一地区、石坂窯跡群二地区、石坂窯跡群三地区まで半日かけて回りま



●クリーンシティ大野城



二五日午前、牛頸の各隣組でクリーンシティ、一斉清掃が行われました。花壇や公園、河川の清掃、ゴミ・ペットボトルなどの回収もされ地域が綺麗になりました。地域の皆様のご協力のお陰と感謝しております。

【区からのお知らせとお願い】

●牛頸公民館休館のお知らせ

一二月二九日から一月四日は休館となります。

【十二月の主な行事予定】

- 一日 減災講習会 まどかびあ
- 一日 隣組長会
- 四日 地域福祉推進委員会及び福祉協力員合同研修会
- 四日 人権週間講演会 まどかびあ
- 七日 南コミふれあいパーティ
- 九日 子ども会餅つき
- 十三日 災害図上訓練 南コミ
- 十七日 大野城市安全安心まちづくりふれあい教室 平野小
- 二九日 公民館休館

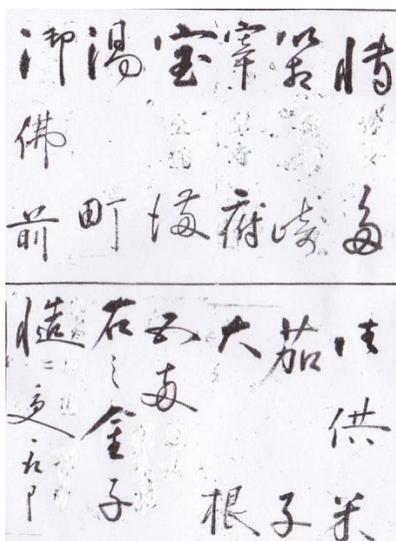
スエちゃん牛頸ばなし

第七十一回 牛頸の学校 その一

牛頸村の教育は江戸時代のほぼ中頃、享保九年(1724)の笛塾に始まると思います。筑前黒田藩に儒者として仕えた竹田定直が六四歳藩を退職して、平野神社の北(今のゲートボール場)に笛塾という儒学(朱子学)の私塾を開き、定直が亡くなるまでの二〇年間近隣の村民に教えていたとのこと、しかしどの文書から笛塾という名前が出て来たのか、私が数年前から調べていますが判明しません。福岡県百科事典、教育史関係、歴史書など幾つもの本に「笛塾牛頸にあり」と載っているのですがその出処がわかりません。古文書などでその存在が判明すれば、それがあった場所に「笛塾跡」と記した碑を建てても良いと思っていま

す。あったであろう笛塾のあとには寺小屋になった、というのは牛頸のある古老から聞き取りました。それは明治の初め頃まで続いたようです。寺小屋の先生は全国的に武士、学者、僧侶、学識のある町人や百姓身分の人がやっていた。牛頸ではどのような方がやっていたのでしょうか。寺小屋の教本で、安政六年(1859)前原市瑞梅寺(ずいばいじ)の物を持っていきますがその内容が実に興味深いです。寺小屋ではまず「いろは」から習いますが、人名の読み方・書き方から始まって地名、野菜や果物の名、冠婚葬祭の熨斗袋の字、金銭関係、借用書など証文の書き方、手紙文の見本など実生活にすぐ役に立つ手本が続きます。その本は瑞梅寺村の直太郎という二〇歳の若者の物です。昔の人は図のような崩し字を習っていたのです。

竹田 準



上段文字 博多、箱崎、宰府、宝満
下段文字 左 五両、右之金子、たしかに、受け取り申

